

キエフの鳥の歌

ウクライナ民謡
木内宏治 作詞

♩=64

1.はてなきそらのかなた いとしいとりはとぶ
2.よぎりにしずむもりよ ほのぐらきたにまよ

おかにひとりたたずみ すぎにしひを おもう
うたごえかわもをゆく わがおもいを のせて

こころにしみるとりのーこーえ はくちょうよーつるよ
つるのうたごえにーよーせーと とどけよあいのうた

(1.~2.)やさしきひとはいまーいすこ おしえておーくーれ

果てなき空の彼方
愛しい鳥は飛ぶ
丘に一人たたずみ
過ぎにし日を思う
心にしみる鳥の声

白鳥よ鶴よ

優しき人は今いすこ

教えておくれ ア・・・

夜霧に沈む森よ
ほの暗き谷間よ

うたごえ川面を行く

わが思いを乗せて

鶴のうたごえに寄せて

届けよ愛の歌

教えておくれ ア・・・

優しき人は今いすこ

キエフの鳥の歌